

※※ 2021年08月（第6版）

※ 2015年06月（第5版）

医療機器認証番号：219AABZX00209000

歯科材料02 歯冠材料
管理医療機器 歯冠用硬質レジン 70811020

メタカラー プライムアート

※【禁忌・禁止】

本材又はメタクリル酸エステル系モノマー、アセトンに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと（使用上の注意の項参照）。

※※【形状・構造及び原理等】

以下の構成品があり、記載の成分を含有します。

構 成 品	性 状	組 成
オペークプライマー	液 体	アセトン、ジチオン化合物、その他
ベースオペーク BASE	ペースト	UDMA、TEGDMA、 メタクリル酸メチル系重合体、 芳香族アミン、シリカ、その他
トップオペーク A1-O、A2-O、A3-O、A3.5-O、A4-O、 B1-O、B2-O、B3-O、B4-O、 C1-O、C2-O、C3-O、C4-O、 D2-O、D3-O、D4-O	ペースト	UDMA、TEGDMA、 芳香族アミン、シリカ、その他
アクセサリカラーオペーク InO、VpO、VrO、PO、CLO、CDO		
ジャケットオペーク JLO、JMO、JDO	ペースト	ウレタン系メタクリレート、TEGDMA、 表面処理ガラス繊維、 芳香族アミン、シリカ、その他
サービカルペースト AC1、AC2、BC1、BC2、CC、DC	ペースト	UDMA、TEGDMA、 芳香族アミン、有機質含有シリカ、 その他
オペーシャスボディペースト A1-OB、A2-OB、A3-OB、 A3.5-OB、A4-OB	ペースト	メタクリル酸エステル類（UDMA、その他）、 芳香族アミン、有機質含有シリカ、 その他
ボディペースト A1-B、A2-B、A3-B、A3.5-B、A4-B、 B1-B、B2-B、B3-B、B4-B、 C1-B、C2-B、C3-B、C4-B、 D2-B、D3-B、D4-B	ペースト	UDMA、TEGDMA、 芳香族アミン、有機質含有シリカ、 その他
ミルキーエナメルペースト 58-ME、59-ME、60-ME		
インサイザルペースト 57、58、59、60		
トランスルーセントペースト T、HVT、LVT		
アクセサリカラーペースト AM、OC、WE、GUM、BM		
サービカルフローペースト AC1-F、AC2-F	ペースト	Bis-MPEPP、TEGDMA、 ハロウムシリカガラス、 芳香族アミン、その他
インサイザルフローペースト 58-F、59-F、60-F		
トランスルーセントフローペースト T-Blue、T-Clear		
ステイン WHITE、ORANGE、YELLOW、 RED、BLUE、BLACK、OCHER、 LIGHT-BROWN、BROWN、 DARK-BROWN、CLEAR	ペースト	メタクリル酸エステル類（UDMA、その他）、 芳香族アミン、有機質含有シリカ、 その他
リペアリキッド	液 体	メタクリル酸エステル類（UDMA、その他）、 芳香族アミン、有機質含有シリカ、 その他
ジャケットオペーク染盛材	液 体	アセトン、その他

付属品：プライムセップ、プライムセップ希釈液、丸筆、平筆、プラスチックダッペン、
練和紙、遮光カバー、20Gニードル、ニードルキャップ（グレー）

【原 理】

本材は、光重合型歯冠用硬質レジンであり、可視光線光エネルギーにより重合硬化します。

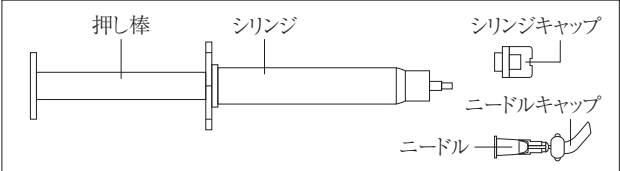
※【使用目的又は効果】

前装冠、ジャケット冠及びブリッジによる歯冠修復又は暫間被覆冠等の製作若しくは口腔内外での人工歯冠の補修に用いる。

※【使用方法等】

※※ 1) 容器の取り扱い方法（サービカルフローペースト、インサイザルフローペースト、トランスルーセントフローペーストの場合）

- ① シリンジ先端のシリンジキャップを、反時計まわりに回転させてはずします。
- ② 付属のニードルをはめ込み、確実に固定するまで時計まわりに回転します。
- ③ 使用直前まではニードルの先にニードルキャップ（グレー）を付けておきます。
- ④ 使用後はニードルを反時計まわりに回転させて取りはずし、シリンジキャップを時計まわりに回転させて装着し保管します。



※※ 重合器と重合時間

本材は光重合により硬化します。

本材に使用する代表的な歯科技工用光重合器及び診療用光照射器の重合時間は次の通りです。

● 歯科技工用光重合器（製造販売元：（株）モリタ東京製作所）（秒）

品 目	光重合器			
	<i>a</i> -ライト	<i>a</i> -ライトII <i>a</i> -ライトIIN	<i>a</i> -ライトV	
ベースオペーク	60	30	15	
トップオペーク ジャケットオペーク アクセサリカラーオペーク	180	90	60	
サービカルペースト ボディペースト インサイザルペースト ミルキーエナメルペースト トランスルーセントペースト アクセサリカラーペースト サービカルフローペースト インサイザルフローペースト トランスルーセントフローペースト	60	30	10	
オペーシャスボディペースト	180	90	60	
ステイン	60	30	15	
リペアリキッド	30	10	10	
最終重合 ^{※1} （オペーシャスボディペースト使用時）	180 (300)	90 (180)	90 (180)	

● 診療用光照射器^{※2}（製造販売元：（株）モリタ東京製作所及びJ.Morita USA）（秒）

品 目	光重合器	
	キャンデラックス	JETライト3000
ベースオペーク	20	20
トップオペーク ジャケットオペーク アクセサリカラーオペーク	40	40
サービカルペースト ボディペースト インサイザルペースト ミルキーエナメルペースト トランスルーセントペースト アクセサリカラーペースト サービカルフローペースト インサイザルフローペースト トランスルーセントフローペースト	10	10
オペーシャスボディペースト	20	20
ステイン	20	20
リペアリキッド	10	10
最終重合 ^{※1}	40	40

※1 最終重合とは、最表層となるペースト染盛終了後の光重合を指します。

※2 診療用光照射器は照射範囲がスポット的なため、硬化必要面積が広い場合は数回に分けて光照射する必要があります。

【操作手順】

《硬質レジン前装冠、硬質レジン前装ブリッジ》

1. 作業用模型の作成

通法にしたがい石膏作業模型を作製した後、支台歯のトリミングを行います。

2. メタルフレームの作製

ワックスを用いて、歯冠形態を回復した後、前装部の窓あけを行い、リテンションビーズを付与し、ワックスパターンを作製します。その後、合金メーカーの指定の方法にしたがい、鑄造を行った後、メタルフレームの調整を行います。

3. 前装部の前処理

前装部を50μmのアルミナ粒子を用いて、サンドブラスト処理を行い、水洗、乾燥します。

4. オペークプライマーの塗布、乾燥

オペークプライマーを付属の筆を用いて、メタルフレーム前装部に薄く一層塗布し、乾燥します。塗布後オペークプライマーはすぐに乾燥しますが、繰り返し塗布する必要はありません。

5. ベースオペークの塗布、重合

ベースオペークは全シェード共通です。付属の筆を用いて、リテンションビーズのアンダーカット部にまで入るように擦り込む感じで塗布します。塗布後、「重合器と重合時間」にしたがい、指定時間光重合します。

6. ボンティック部の穴埋め（硬質レジン前装ブリッジのみ）

ボンティック部はベースオペーク重合後、アクセサリカラーペーストBM又はインサイザルフローペースト、トランスルーセントフローペーストを染盛し、隣接する前装部との染盛スペースを揃えます。染盛後、「重合器と重合時間」にしたがい、指定時間光重合します。

7. トップオペークの塗布、重合

選択したシェードのトップオペークを付属の筆を用いて前装部に塗布します。塗布後、「重合器と重合時間」にしたがい、指定時間光重合します。トップオペークの塗布、重合は、金属色が遮蔽できるまで同じ操作を繰り返します。

8. サービカルペースト、サービカルフローペーストの染盛、重合

サービカルペーストまたはサービカルフローペーストを色調の移行を考慮して、歯頸部から歯冠中央部に向かって移行的に薄くなるように染盛します。染盛後、「重合器と重合時間」にしたがい、指定時間光重合します。

9. ボディペースト、オペーシャスボディペーストの染盛、重合

ボディペーストまたはオペーシャスボディペーストを歯冠形態を考慮して染盛します。染盛後、「重合器と重合時間」にしたがい、指定時間光重合します。
※オペーシャスボディペーストは遮蔽力が強いいため厚く染盛すると硬化不良を起こす場合があります。厚く染盛したい場合は積層して分割的に染盛してください。

10. インサイザルペースト、ミルキーエナメルペースト、インサイザルフローペースト、トランスルーセントペースト、トランスルーセントフローペーストの染盛、重合
インサイザルペーストまたはミルキーエナメルペーストあるいはインサイザルフローペーストを気泡の混入に注意しながら最終歯冠形態を考慮して切端部へ移行的に染盛します。染盛後、「重合器と重合時間」にしたがい、指定時間光重合します。

トランスルーセントペーストまたはトランスルーセントフローペーストを使用する場合は、インサイザルペーストまたはミルキーエナメルペーストあるいはインサイザルフローペーストの染盛後に予備重合を行い染盛します。染盛後、「重合器と重合時間」にしたがい、指定時間光重合します。

※色調調整、キャラクタライズ

本品はトップオペーク塗布、ペースト染盛の各工程において、アクセサリカラーオペーク、アクセサリカラーペースト、ステインを用いて色調調整、キャラクタライズを行うことができます。アクセサリカラーオペークはトップオペークと混合または単独で使用します。ステインは別色のステインと混合または単独で使用し、希釈を行いたい場合はリペアリキッドで希釈して使用します。塗布、染盛後は「重合器と重合時間」にしたがい、指定時間光重合します。

11. 形態修正

カーバイドバー、カーボランダムポイント、ダイヤモンドポイント、ホワイトポイント等の研削器具を用いて形態修正を行います。

12. 追加染盛

形態修正後等にペーストを追加染盛する場合は、追加する表面をカーボランダムポイント等で一層削り、リペアリキッドを薄く塗布します。塗布後は「重合器と重合時間」にしたがい、指定時間光重合します。リペアリキッド重合面に選択したペーストを移行的に染盛します。染盛後は「重合器と重合時間」にしたがい、最終重合します。

13. 仕上げ、艶だし研磨

シリコンポイント、ペーパーコーン等で仕上げ研磨を行い、ブラシ、バフ等を用いて、研磨材にて艶だし研磨を行い完成させます。

《硬質レジンジャケット冠》

1. 作業用模型の作製

通法にしたがい石膏作業模型を作製した後、支台歯のトリミングを行います。

2. レジン分離材の塗布、乾燥

「プライムセップ」を用いて、マージン部を含む支台歯全体に薄く一層塗布し、自然放置又はマイルドなエアードで乾燥します。次にジャケット冠の離型を容易にするため、マージン部を除く部分に再度塗布し、自然放置又はマイルドなエアードで乾燥します。マージン部を除く部分は、この操作を繰り返すことで十分な被膜が形成されます。使用にあたっては、「プライムセップ」取扱説明書にしたがって行ってください。

3. ジャケットオペークの染盛、重合

マージン部一層を除く支台歯全体をコーピングするようにジャケットオペークを染盛

します。ジャケットオペークは0.3mm以上の厚みで効果を発揮しますので、0.3mm以上になるよう染盛してください。また、染盛時に付属の筆を使用する場合は、ジャケットオペーク染盛材を筆先に馴染ませると容易に染盛できます。
染盛後、「重合器と重合時間」にしたがい、指定時間光重合します。支台歯が金属の場合等、より強い遮蔽が必要な場合は、必要に応じてトップオペークを塗布し、塗布後、「重合器と重合時間」にしたがい、指定時間光重合します。

4. サービカルペースト、サービカルフローペーストの染盛、重合

サービカルペーストまたはサービカルフローペーストを色調の移行を考慮して、歯頸部から歯冠中央部に向かって移行的に薄くなるように染盛します。染盛後、「重合器と重合時間」にしたがい、指定時間光重合します。

5. ボディペースト、オペーシャスボディペーストの染盛、重合

ボディペーストまたはオペーシャスボディペーストを歯冠形態を考慮して染盛します。染盛後、「重合器と重合時間」にしたがい、指定時間光重合します。
※オペーシャスボディペーストは遮蔽力が強いいため厚く染盛すると硬化不良を起こす場合があります。厚く染盛したい場合は積層して分割的に染盛してください。

6. インサイザルペースト、ミルキーエナメルペースト、インサイザルフローペースト、トランスルーセントペースト、トランスルーセントフローペーストの染盛、重合

インサイザルペーストまたはミルキーエナメルペーストあるいはインサイザルフローペーストを気泡の混入に注意しながら最終歯冠形態を考慮して切端部へ移行的に染盛します。染盛後、「重合器と重合時間」にしたがい、指定時間光重合します。トランスルーセントペーストまたはトランスルーセントフローペーストを使用する場合は、インサイザルペーストまたはミルキーエナメルペーストあるいはインサイザルフローペーストの染盛後に予備重合を行い染盛します。染盛後、「重合器と重合時間」にしたがい、指定時間光重合します。
※色調調整、キャラクタライズ

本品はトップオペーク塗布、ペースト染盛の各工程において、アクセサリカラーオペーク、アクセサリカラーペースト、ステインを用いて色調調整、キャラクタライズを行うことができます。アクセサリカラーオペークはトップオペークと混合または単独で使用します。ステインは別色のステインと混合または単独で使用し、希釈を行いたい場合はリペアリキッドで希釈して使用します。塗布、染盛後は「重合器と重合時間」にしたがい、指定時間光重合します。

7. ジャケット冠の離型、適合の確認

支台歯からジャケット冠を離型した後、支台歯及びジャケット冠内面に付着したプライムセップを除去して適合を確認します。

8. 形態修正

カーバイドバー、カーボランダムポイント、ダイヤモンドポイント、ホワイトポイント等の研削器具を用いて形態修正を行います。

9. 追加染盛

形態修正後等にペーストを追加染盛する場合は、追加する表面をカーボランダムポイント等で一層削り、リペアリキッドを薄く塗布します。塗布後は「重合器と重合時間」にしたがい、指定時間光重合します。リペアリキッド重合面に選択したペーストを移行的に染盛します。染盛後は「重合器と重合時間」にしたがい、最終重合します。

10. 仕上げ、艶だし研磨

シリコンポイント、ペーパーコーン等で仕上げ研磨を行い、ブラシ、バフ等を用いて、研磨器具にて艶だし研磨を行い完成させます。

《口腔内リペア》

1. 破折面の粗造化

ダイヤモンドポイント等を用いて、破折面を一層研磨し新生面を露出させます。

※※ 2. 破折面の洗浄

リン酸処理材（例えば「表面処理材レッド」）を破折面に塗布し、水洗後、乾燥します。

3. 破折面の表面処理

破折面に応じた表面処理を施します。

金属面に対しては50μmのアルミナ粒子を用いて、サンドブラスト処理を行い、水洗、乾燥します。その後、オペークプライマーを薄く一層塗布し、乾燥します。
ポーセレン面、硬質レジン面に対してはシランカップリング材（例えば「スーパーボンドPZプライマー」）を用いて、塗布、乾燥します。

4. 破折面へのペースト染盛

表面処理した金属面に対しては、ベースオペークを一層塗布し光重合します。その後、補綴物に応じた色調のトップオペークを塗布し、光重合します。トップオペークの操作は金属色が隠れるまで繰り返して行います。
トップオペーク硬化面及び表面処理したポーセレン面、硬質レジン面に対しては、補綴物に応じた色調のボディペースト、インサイザルペースト、インサイザルフローペースト等を用いて染盛します。各種オペーク、ペーストの重合は、診療用光照射器の「重合器と重合時間」にしたがい、指定時間光照射します。

5. 形態修正

ダイヤモンドポイント、ホワイトポイント等の研削器具を用いて形態修正を行います。

6. 仕上げ、艶だし研磨

シリコンポイント、ペーパーコーン等で仕上げ研磨を行い、ブラシ等を用いて、研磨材にて艶だし研磨を行い完成させます。

取扱説明書を必ずご参照ください。

**[使用方法に関連する使用上の注意]

●オペークプライマーに関する使用上の注意

- オペークプライマーは薄く一層塗布すること。繰り返し塗布は金属との接着強さを低下させるので行わないこと。
- オペークプライマーは揮発性で、塗布後すぐに乾燥する。乾燥むらにより縞模様ができる場合があるが、金属との接着に影響しない。
- オペークプライマー処理後の表面は、手垢、油等で汚染されないようにすること。汚染された場合は、超音波洗浄等で洗浄し、再度オペークプライマーを塗布すること。
- オペークプライマーは金銀パラジウム合金、金合金に対する接着用プライマーである。銀合金、非貴金属合金に使用する時は、別売単品の「メタファスト ボンディングライナー」を使用すること。

●オペークに関する使用上の注意

- 本材のオペーク全種は、ガラスファイアまたはガラス繊維を含有しているため、硬化体表面を金属製インスツルメントでこするとオペークが黒く着色することがある。オペーク層の上にペーストを盛り上げるときは、オペーク層をこすらないよう注意すること。

●ジャケットオペーク築盛材に関する注意事項

- ジャケットオペーク築盛材は、ジャケットオペーク専用のため、他のペースト、オペークには使用しないこと。

●フローペーストに関する注意事項

- フローペーストは必ず専用のニードルを使用すること。
- ニードルの交換時、シリンジとの嵌合部にペースト等が付着していると、使用時にニードルが抜け落ちるおそれがあるため、嵌合部を清掃してからニードルを装着すること。

●本材共通の注意事項

- 他の製品と混合して使用しないこと。
- 火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。オペークプライマー、ジャケットオペーク築盛材、プライムセップ、プライムセップ希釈液は可燃性のため特に注意すること。
- 本材は使用後すぐに閉栓すること。特にオペークプライマー、ジャケットオペーク築盛材、プライムセップ、プライムセップ希釈液は揮発性が高いので、使用後はただちに閉栓すること。
- オペークプライマー、ジャケットオペーク築盛材、プライムセップ、プライムセップ希釈液は家具等の塗装面に触れると、その表面を侵すことがある。塗装面に塗布したり、こぼさないこと。
- オペークプライマー、オペーク等に使用する筆は使い分けること。また、使用後は別売単品の「スーパーボンド 筆洗い液Ⅱ」で洗浄すること。
- オペーク、ステインは耐磨耗性が劣るため、その硬化面を必ずペーストで覆い、表面に出さないこと。
- 窓際または技工用ライト直下等、明るい場所で使用するとオペーク、ペースト、ステインが硬化することがあるので、強い光が当たらない場所で使用すること。
- 本材にて作製したジャケット冠を口腔内に合着する場合は、歯科接着用レジンセメント(例えば「スーパーボンド」)を使用すること。
- ニードルと筆は感染防止のため、同一患者のみに使用し、他の患者への再使用はしないこと。また、同一患者であっても口腔内で使用したニードルにニードルキャップ(グレー)は装着しないこと。
- 本材と併用して使用する歯科材料、機器及び器具は、それぞれの添付文書等に記載の使用方法及び使用上の注意事項を厳守すること。
- 口腔内で表面処理を行った適用面が唾液や呼吸等で汚染されないようにすること。
- 感染予防のため、使用中の製品容器に唾液や血液等が付着した場合はアルコール等で適切に清掃すること。
- 本材は、【使用目的又は効果】に記載の用途以外には使用しないこと。

**[使用上の注意]

1) 重要な基本的注意

- 本材又は付属品(プライムセップ、プライムセップ希釈液)の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、かぶれ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- 本材、付属品(プライムセップ、プライムセップ希釈液)又はメタクリル酸エステル系モノマーに対する過敏症の既往歴のある術者は、手袋等を用いて直接本材等に触れないようにすること。また本材等の使用により過敏症状を起こした場合には医師の診断を受けること。なお、医療用(歯科用)手袋は、本材の直接的接触を防ぐが、一部のモノマー、有機溶媒が短時間のうちに手袋素材を浸透することが知られているので、本材が付着した場合は直ちに手袋を捨て、石鹸を使用して流水で手を十分洗浄すること。
- 本材又は付属品(プライムセップ、プライムセップ希釈液)を口腔粘膜、皮膚、眼に接触させないこと。口腔粘膜、皮膚に付着した場合は、すぐにアルコール綿等で拭いた後、多量の流水で洗浄すること。万一、目に入った場合は、すぐに多量の流水で洗浄し、必要に応じて眼科医の診断を受けさせること。
- ジャケットオペークはガラス短繊維を含有している為、直接本材に触れないように手袋等を用いて使用すること。
- オペークプライマー、ジャケットオペーク築盛材はアセトンを90%以上含有している。また、プライムセップ、プライムセップ希釈液はヘプタンを90%以上含有している。取扱中にこぼさないこと。使用する際は周囲の換気を良くし、揮発したアセトンやヘプタンの蒸気を吸入しないようにすること。高濃度の蒸気を多量に吸入すると頭痛等の恐れがあるので、十分な換気がなされている場所で使用すること。高濃度の蒸気を多量に吸入した場合は、新鮮な空気 の場所に移動すること。
- 硬化物の研磨作業等の際に、粉塵を吸入しないようにすること。
- 硬化物が口腔粘膜に接触する場合には、その硬化物の表面を研磨し、滑らかな面とすること。
- 使用中患者に誤飲させないこと。万一、誤飲させた場合は、必要に応じて医師の診断を受けさせること。
- 使用するにあたっては、患者の個人差も考慮し、症例に適合するかどうかを判断して使用すること。

2) 不具合・有害事象

本材の使用に伴い、発疹、皮膚炎等の過敏症状が発生することがあります。

**[保管方法及び有効期間等]

[保管方法]

- オペークプライマー、ジャケットオペーク築盛材、プライムセップ、プライムセップ希釈液は火気厳禁のこと。
- 多湿、直射日光を避け室温(1℃～30℃)にて保管すること。
- 冷蔵庫保管するとペーストが出にくくなるので、20℃程度の室温に10分以上放置した後使用すること。冷えたまま押し出すとシリンジ破損のおそれがある。
- 歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

[使用期間]

本体に記載の使用期限*までに使用すること。

[記載の使用期限は、自己認証(当社データ)による。]

※(例) ◯◯◯◯-△△は使用期限◯◯◯◯年△△月を示す。)

**[製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等]

* 製造販売業者：サンメディカル株式会社

住 所：〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2

電話番号：077-582-9980

フリーダイヤル：0120-418-303(FAX共通)

電話受付時間 月～金(祝日を除く)午前9:00～午後5:30

ホームページ：http://www.sunmedical.co.jp

【色調構成表】

シェード	A1	A2	A3	A3.5	A4	B1	B2	B3	B4	C1	C2	C3	C4	D2	D3	D4
ベースオペーク	BASE															
トップオペーク	A1-O	A2-O	A3-O	A3.5-O	A4-O	B1-O	B2-O	B3-O	B4-O	C1-O	C2-O	C3-O	C4-O	D2-O	D3-O	D4-O
ジャケットオペーク	JLO	JMO	JMO	JDO	JDO	JLO	JMO	JMO	JDO	JLO	JMO	JMO	JDO	JLO	JMO	JMO
サービカルペースト		AC1	AC1	AC2	AC2		BC1	BC1	BC2		CC	CC		DC	DC	
サービカルフローペースト		AC1-F	AC1-F	AC2-F	AC2-F											
オペーシヤスボディペースト	A1-OB	A2-OB	A3-OB	A3.5-OB	A4-OB											
ボディペースト	A1-B	A2-B	A3-B	A3.5-B	A4-B	B1-B	B2-B	B3-B	B4-B	C1-B	C2-B	C3-B	C4-B	D2-B	D3-B	D4-B
ミルキーエナメルペースト	58-ME	58-ME	59-ME	59-ME	60-ME		59-ME	59-ME	59-ME	60-ME	59-ME	59-ME	60-ME	60-ME	59-ME	59-ME
インサイザルペースト	58	58	59	59	60	57	59	59	59	60	59	59	60	60	59	59
インサイザルフローペースト	58-F	58-F	59-F	59-F	60-F		59-F	59-F	59-F	60-F	59-F	59-F	60-F	60-F	59-F	59-F
トランスルーセントペースト	T HVT LVT															
トランスルーセントフローペースト	T-Blue T-Clear															
アクセザリーカラーオペーク	InO VpO VrO PO CLO CDO															
アクセザリーカラーペースト	OC AM WE GUM BM															
ステイン	WHITE		BLUE	YELLOW	RED	ORANGE	BLACK	OCHER	LIGHT-BROWN			BROWN	DARK-BROWN		CLEAR	

※キャラクタライズには、アクセサリーカラーオペーク、アクセサリーカラーペースト、ステインを必要に応じて使用します。詳細については、取扱説明書をご参照ください。

ピタは、VITA Zahnfabrik社の商標です。